

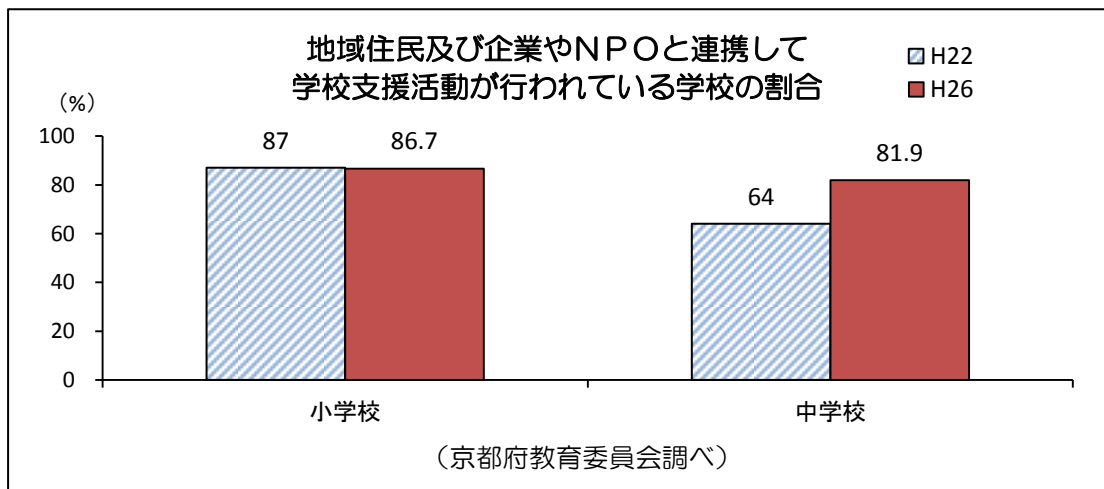
## 重点目標 9

## 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

### 現状と課題

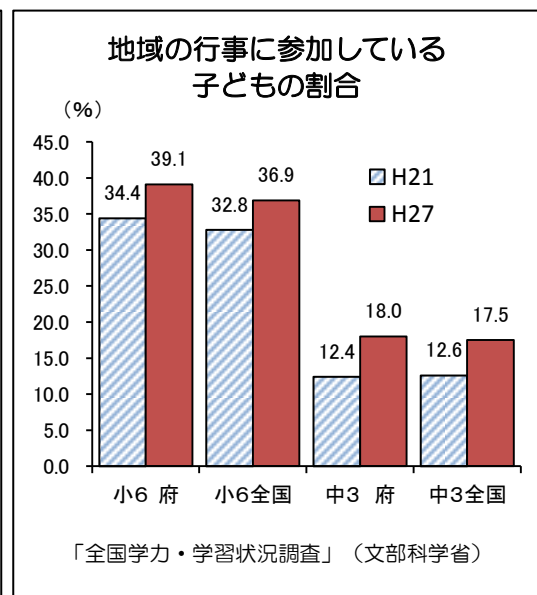
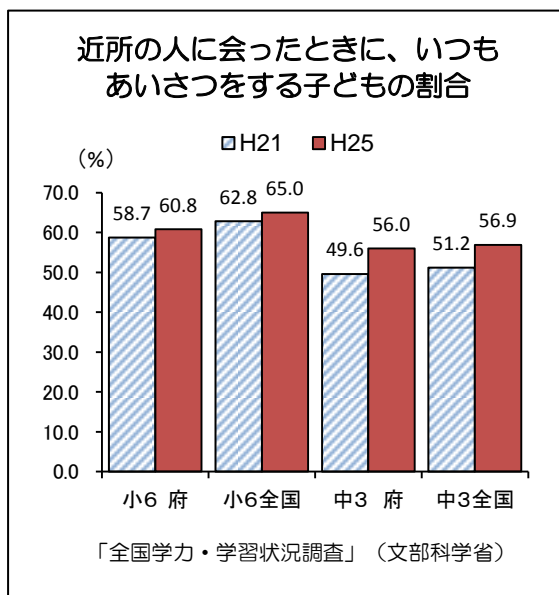
- 地域住民及び企業やNPOと連携した学校支援活動が行われている学校の割合は、平成22年度は小学校で87%、中学校で64%でしたが、平成26年度では、小学校で86.7%、中学校で81.9%と、中学校で広がってきています。

平成14年に始まった学校週5日制の下で、学校・家庭・地域社会が互いに連携し、役割分担しながら、子どもの健全育成に向けた取組が進められてきています。



- 「近所の人に出会ったときに、いつもあいさつをする」子どもの割合は、平成21年度と25年度を比較すると、小学生で58.7%から60.8%に、中学生で49.6%から56.0%に増加していますが、全国平均より低い状況にあります。また、「地域の行事に参加している」子どもの割合も、平成21年度と27年度を比較すると、小学生で34.4%から39.1%、中学生で12.4%から18.0%と増加していますが、地域とのつながりが薄い状況は変わっていません。

地域のネットワークを強め、地域で行われる様々な取組を通して、人と人をつなぎ、地域社会の教育力を高めていくことが求められています。



## 基本的方針

地域社会は子どもが生活し成長する場として重要な役割を担っています。

また、周囲からの愛情や信頼、期待などに包み込まれているという感覚をはぐくみ、安心や自信、誇りや責任感を持つことができる大切な場でもあります。

そのため、地域のつながりや人材、自然、伝統や文化など京都が持つ様々な力を活用しながら、学校支援活動をはじめ、子どもの自然体験活動やスポーツ活動などを充実させることにより、地域全体で子どもを包み込みはぐくんでいく環境づくりを推進します。

## 主な目標指標

目標指標	基準値（出典等）	目標
地域の特色を活かした子どもの活動の場の数	69 箇所 京のまなび教室推進事業等の事業実績による(26 年度)	100 箇所
地域住民及び企業やNPO等と連携して学校支援活動が行われている学校の割合	小:86.7% / 中:81.9% 市町(組合)教育委員会からの実績報告による(26 年度)	100%
知っている人に会った時にあいさつをする子どもの割合 (「知っている人に会ったときは、あいさつをしている」という質問に対し「当てはまる」と回答した児童生徒の割合)	小 4:61.6% 中 1:62.4% / 中 2:58.5% 京都府教育委員会「京都府学力診断テスト」質問紙調査(27 年度)	増加させる
地域の行事に参加している子どもの割合 (「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対し「当てはまる」と回答した児童生徒の割合)	小 6:39.1% / 中 3:18.0% 文部科学省「全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙」(27 年度)	増加させる

## (35) 子どもの活動の場の充実

**京都が持つ自然、伝統や文化をはじめ、地域のつながりや人的資源を活用して、自然体験活動やスポーツ活動、文化活動を推進するなど、地域の特色を活かした子どもの活動の場の充実を図ります。**

- 障害のある子どもも参加できるような地域の中での体験活動や学習活動を行うなど、地域の特色を活かした子どもの居場所づくりを推進します。
- 地域での多様な体験活動を支援するため、企業やNPOなどと連携した「特別講師派遣事業」を推進します。
- 小・中学生に対して学習指導、スポーツ・文化芸術指導などを行うボランティア活動に、高校生が積極的に参画し活躍できるための取組を推進します。
- NPOや自治会などと連携を図り、様々な課題を抱える子どもが身近な集会所などにおいて学習できる環境づくりを推進します。

## (36) 学校を支援する活動の充実

---

**生涯学習の成果を学習活動、安全確保、環境整備に活かすなど、地域社会全体で学校を支援する活動の充実を図ります。**

- 府民の多様な生涯学習の成果を発揮し、学習活動、体験活動、環境整備など学校支援に活かせる場や機会の充実を図る取組を推進します。（(38)に再掲）
- 地域の良さや特色を活かして、地域が学校を支援する、また、学校が学校施設を地域に開放したり、子どもが地域行事の担い手になるなど地域に貢献する双方向の取組を通じて、地域コミュニティの活性化を図る取組を推進します。
- 地域の多様な人々が教育にかかわり学校を支援し子どもの居場所をつくる活動を充実するとともに、京都府の実情を踏まえた京都式のコミュニティ・スクールを検討するなど、保護者や地域住民の参画による開かれた学校づくりに向けた取組を推進します。（(31)から再掲）

## (37) 子どもの健全育成のための環境づくり

---

**子どもの健全育成に向けた学校・家庭・地域社会・関係諸機関のネットワークを充実するとともに、子どもの健やかな育ちを阻害する有害情報対策を進めるなど、地域社会全体で子どもを包み込みはぐくむ環境づくりを推進します。**

- 子どもの健全育成に向けて、PTAや青少年育成協会などと連携し、幅広い地域の関係者が参画するネットワークを充実するなど、地域社会全体で子どもを包み込みはぐくむ環境づくりを推進します。
- 地域住民による声かけ・あいさつ・見守り運動を実施するなど、地域社会で子どもを見守る取組を支援します。
- 保護者向けに、危険ドラッグや大麻などの薬物乱用防止、インターネットにおけるいじめや有害情報対策のための啓発資料を作成し、関係機関が集う研修会で活用するなど、子どもの健全育成のためのネットワークづくりを推進します。